

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第45週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (45週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 3 例。3 類感染症：報告なし。
4 類感染症：つつが虫病 4 例、日本紅斑熱 1 例。5 類感染症：百日咳 8 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	頸部結核性リンパ節炎	左頸部皮下のしこり
			90歳代	男	肺結核	咳、痰
		日南市	80歳代	男	肺結核	—
4類	つつが虫病	宮崎市	40歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹
		小林	40歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹、全身倦怠感
			70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、倦怠感
			80歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口
	日本紅斑熱	宮崎市	70歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常
5類	百日咳	宮崎市	10歳代	男	—	持続する咳
			10歳代	女	—	持続する咳
		日南市	0~4歳	女	—	咳
			10歳代	女	—	持続する咳
		日向	0~4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
			5~9歳	女	—	持続する咳、膨疹
			5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、スタックート、白血球数増多
			10歳代	女	—	持続する咳

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・ 定点医療機関からの報告総数は 458 人 (定点当たり 12.4) で、前週比 93% と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は伝染性紅斑で、減少した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【インフルエンザ】

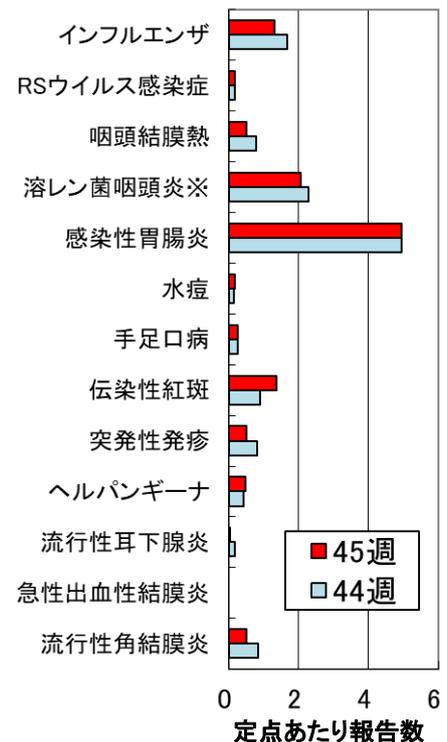
報告数は 77 人 (1.3) で、前週比 78% と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値* (0.27) の約 4.9 倍である。宮崎市 (2.6)、都城 (1.8)、高鍋 (1.5) 保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【伝染性紅斑】

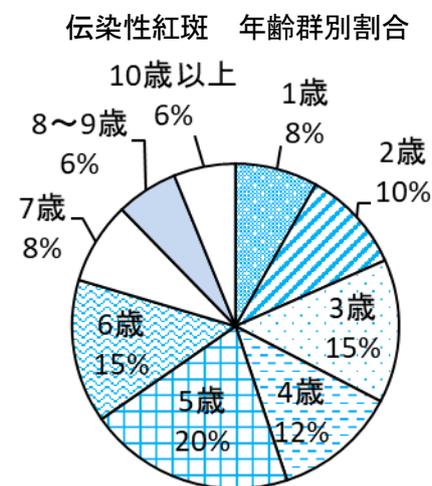
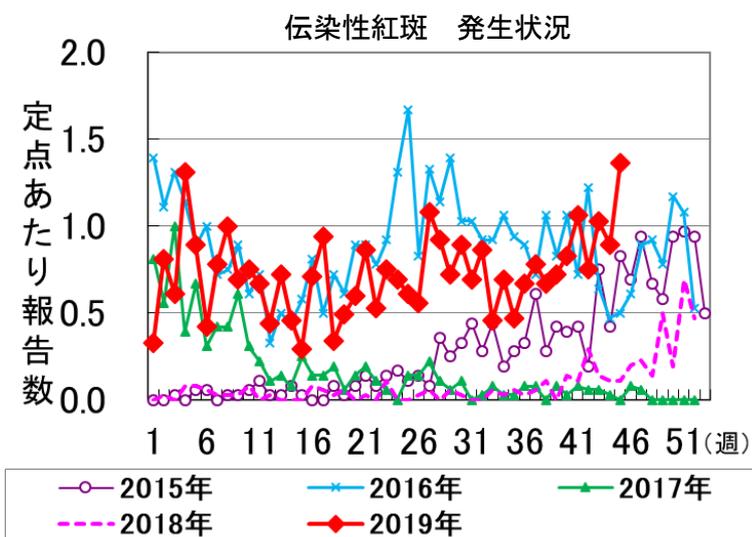
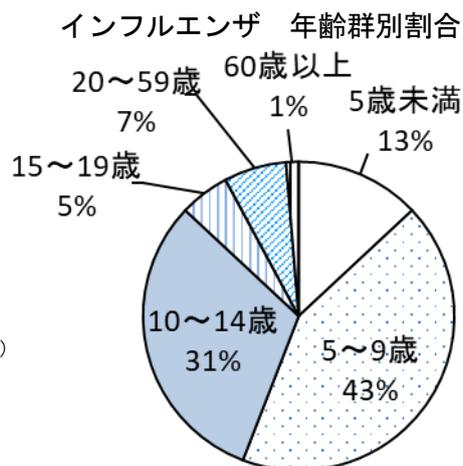
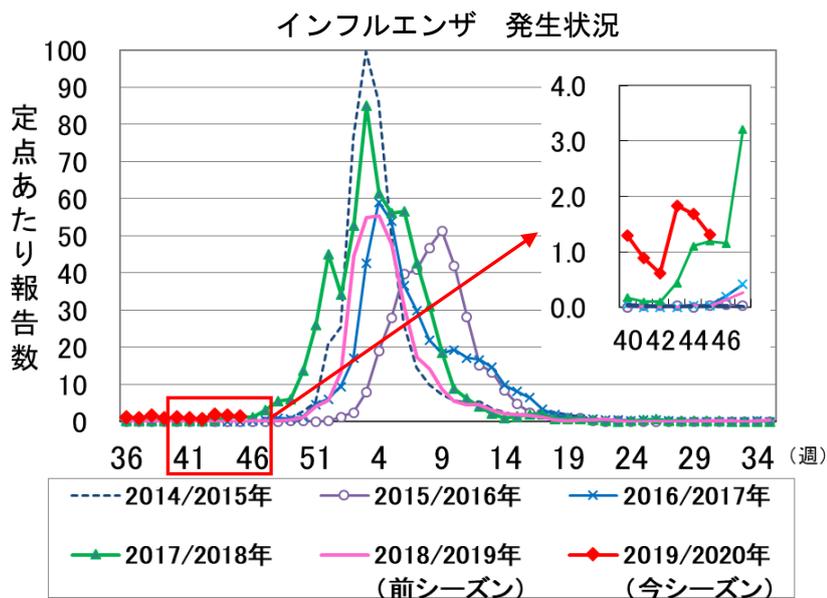
報告数は 49 人 (1.4) で、前週比 153% と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (0.28) の約 4.9 倍である。都城、延岡、日向 (各 2.5) 保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所から1例報告があり、10歳代であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	伝染性紅斑(2.5)
延岡	伝染性紅斑(2.5)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	水痘(1.0)
日向	伝染性紅斑(2.5)
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

・伝染性紅斑(2.0)

* 流行注意報レベル基準値 *

・水痘(1.0)

🇯🇵 全国 2019 年第 44 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 44 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	322 例				
3類感染症	細菌性赤痢	2 例	腸管出血性大腸菌感染症	75 例		
4類感染症	E 型肝炎	7 例	A 型肝炎	2 例	エキノコックス症	1 例
	ジカウイルス感染症	1 例	つつが虫病	5 例	デング熱	7 例
	日本紅斑熱	8 例	マラリア	1 例	ライム病	2 例
	レジオネラ症	49 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	48 例
	急性脳炎	10 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14 例
	後天性免疫不全症候群	13 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	44 例	水痘（入院例）	3 例	先天性風しん症候群	1 例
	梅毒	74 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	4 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	235 例	風しん	10 例
	麻しん	3 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 110%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザと A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は RS ウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は 4,682 人 (0.95) で前週比 119%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値* (0.32) の約 3.0 倍である。沖縄県 (7.1)、鹿児島県 (2.7)、福岡県 (2.2) からの報告が多く、年齢群別では 10 歳未満が全体の約 6 割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は 1,836 人 (0.58) で前週比 100%と横ばいだが、例年同時期の定点当たり平均値* (0.28) の約 2.1 倍である。大分県 (2.0)、徳島県、佐賀県 (各 1.5) からの報告が多く、年齢群別では 3～6 歳が全体の約 6 割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週後週（計 15 週）の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2019年10月>

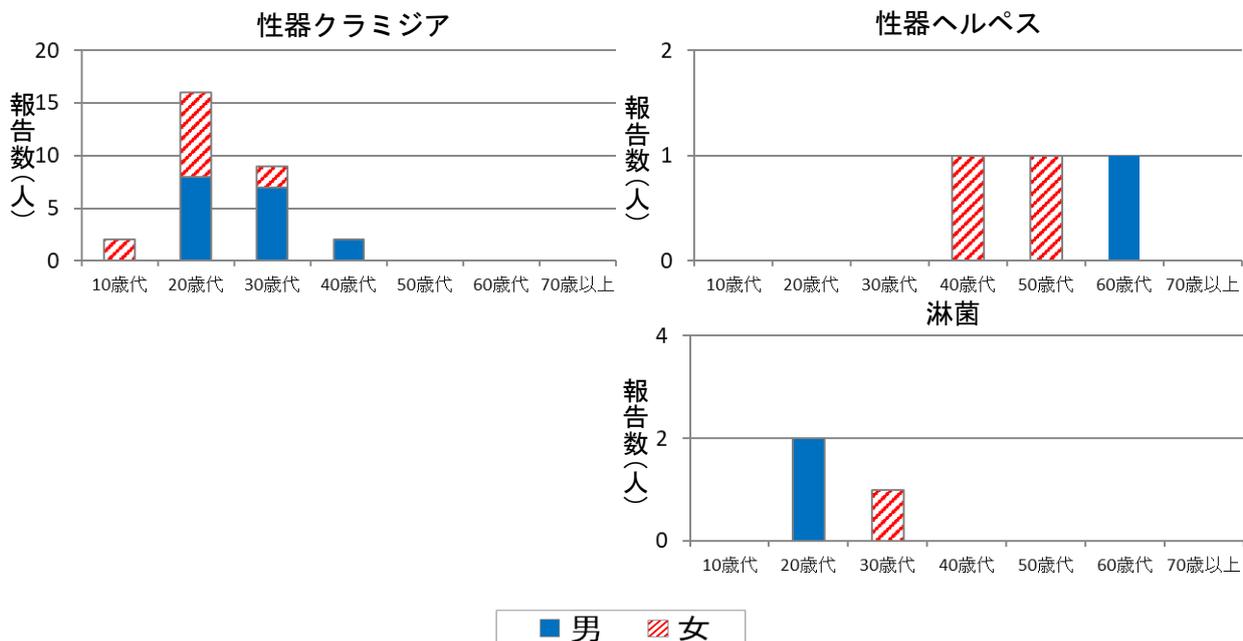
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は35人(2.7)で、前月比121%と増加した。また、昨年10月(2.0)の135%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数29人(2.2)で、前月の約1.8倍、昨年10月の約1.5倍であった。
20歳代が全体の約半数を占めた。(男性17人・女性12人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月の約0.4倍、昨年10月の0.6倍であった。
(男性1人、女性2人)
- 尖圭コンジローマ：報告なし。
- 淋菌感染症：報告数3人(0.23)で、前月の0.5倍、昨年10月の1.5倍であった。(男性2人、女性1人)



【全国】 定点医療機関総数：976

定点医療機関からの報告総数は4,552人(4.7)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,512人(2.6)で前月比108%、性器ヘルペスウイルス感染症833人(0.85)で前月比98%、尖圭コンジローマ547人(0.56)で前月比102%、淋菌感染症660人(0.68)で前月比96%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は19人(2.7)で、前月比106%と増加した。また、昨年10月(2.3)の119%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数19人(2.7)で、前月の約1.1倍、昨年10月の約1.2倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：477

定点医療機関からの報告総数は1,540人(3.2)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,366人(2.9)で前月比100%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症159人(0.33)で前月比122%、薬剤耐性緑膿菌感染症15人(0.03)で前月比300%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2019年 第45週(11月04日～11月10日)

疾病名		第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	99	77	42	18	1	3	2	9		1	1
	定点当り	1.68	1.31	2.63	1.80	0.14	0.60	0.40	1.50	0.00	0.17	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	6	7	2		1	3				1	
	定点当り	0.17	0.19	0.20	0.00	0.25	1.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	28	18	9	3	1	1	1		1	2	
	定点当り	0.78	0.50	0.90	0.50	0.25	0.33	0.33	0.00	1.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	82	74	26	14	11	13	2	4	1	1	2
	定点当り	2.28	2.06	2.60	2.33	2.75	4.33	0.67	1.00	1.00	0.25	2.00
感染性胃腸炎	報告数	178	178	30	41	10	23	15	14	3	34	8
	定点当り	4.94	4.94	3.00	6.83	2.50	7.67	5.00	3.50	3.00	8.50	8.00
水痘	報告数	5	6	3			1		1	1		
	定点当り	0.14	0.17	0.30	0.00	0.00	0.33	0.00	0.25	1.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	9	9	3	2	1			3			
	定点当り	0.25	0.25	0.30	0.33	0.25	0.00	0.00	0.75	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	32	49	11	15	10		2	1		10	
	定点当り	0.89	1.36	1.10	2.50	2.50	0.00	0.67	0.25	0.00	2.50	0.00
突発性発しん	報告数	29	18	11	4			1			2	
	定点当り	0.81	0.50	1.10	0.67	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	15	17	10	2	3	1				1	
	定点当り	0.42	0.47	1.00	0.33	0.75	0.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	6	1			1						
	定点当り	0.17	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	5	3	1	1	1						
	定点当り	0.83	0.50	0.33	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～45週)

2類感染症	結核	174例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	41例	腸チフス	1例
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	9例(4)
	日本紅斑熱	7例(1)	レジオネラ症	8例
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	3例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	4例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	18例
	破傷風	2例	百日咳	283例(8)
	麻しん	1例	風しん	1例

()内は今週届出分、再掲